

NPO 法人あざれあ交流会議 令和 5 年度調査研究事業
「パート・非正規女性従業員の現状と課題について」アンケート調査報告

■調査概要

1. 調査目的

「都道府県版ジェンダー・ギャップ指数」2023年の指数で、静岡県は経済分野が47都道府県中最下位であった。中でも短時間労働に従事する男女間の賃金格差が45位と順位を引き下げる要因となっている。女性の非正規労働者が現在抱える不安や課題、必要な支援などを明らかにする調査を行い今後の事業企画に活かすことを目的とする。

2. 実施要領

【調査期間】令和 5 年 10 月 10 日～同年 11 月 30 日

【調査対象】静岡県内で非正規雇用で働く女性

【調査方法】あざれあ公式 HP「あざれあナビ」を利用したインターネット
(グーグルフォーム) によるアンケート

【回収数】257 件

【有効回答数】252 件

【監 修】^{なめだ}滑田 ^{あきのぶ}明暢 氏

(静岡大学 大学教育センター／未来社会デザイン機構サステナビリティセンター 講師)

※基数となる実数は、図表中に(n=)として記載。比率はこの基数を 100%として算出

●数値の基本的な取り扱いについて

- ① 基数となるべき実数は、“N=〇〇”として掲載し、各比率はNを 100%として算出している。
- ② 構成比は小数第一位を四捨五入し、整数で表示のため、各回答の構成比を合計しても 100%にならない場合がある。また、回答があっても構成比が 0%の場合もある。
- ③ 質問の終わりに(複数回答)とある問は、1 人の回答者が 2 つ以上の回答を選択してもよい問であり、従って、各回答の合計比率は 100%にならない。
- ④ 文中、グラフ中の選択肢等の文言は一部簡略化している。

「パート・非正規女性従業員の現状と課題について」アンケート調査報告についての考察

滑田 明暢

(静岡大学 大学教育センター／未来社会デザイン機構サステナビリティセンター 講師)

今回の調査結果において、まず注目したいのは、「問 6 非正規雇用で働いている理由」である。選択された回答として最も多かったのが「家事や育児・介護に要する時間が必要だから」であり、回答者の約 55 パーセント（252 人中 138 人）が当てはまると回答していた。この結果からは、少なくとも今回の調査では約半数の回答者の人たちが、家事や育児・介護との時間的なバランスを取るために非正規雇用の形態で働いていることをうかがい知ることができる。この状況は、「問 10 ダブルワークをしていない理由」の回答においても示されており、回答者の約 48 パーセント（215 人中 103 人）が「ダブルワークしたいが時間的にする余裕がない」と回答していた。問 10 の自由記述では、家事育児があつて時間的にも身体的にも無理だと思う、子どもが小さいため見守る人が必要、といった趣旨の回答もあつた。家事や育児・介護との時間的なバランスに焦点を当てながら働いている人の現状を理解し、その理解をもとに、これからの働き方に関する方策を考えていくことが必要と考えられる。

家事や育児・介護との時間的なバランスの他には、経済的な側面への注目も大事であることが、今回の調査から浮かび上がっている。「問 12 現在の生活の状態」の回答を見ると、「あまり余裕がない」「まったく余裕がない」と回答した人たちの割合は約 69 パーセント（252 人中 174 人）であり、「困窮している」と回答した人たちの割合は約 4 パーセント（252 人中 11 人）であつた。さらに、「問 13 非正規で働いてきたことが影響して起きている／起きたと感じるライフイベント」の自由記述コメントには、昇給もボーナスも無いこと、生活に余裕が無いこと、収入が少なく家計に余裕がないこと、といった趣旨の回答があり、家の建替えやリフォームの断念、といった回答もあつた。「問 12 現在の生活の状態」は、経済的な側面の状態だけをたずねている質問項目ではないが、問 13 の自由記述を含めると、今後に経済的な側面を考慮した支援策を考えることは重要課題であると考えられる。

本調査の結果からは、非正規雇用で働く人たちから見た正規雇用と非正規雇用の待遇の違いや、非正規雇用で働くなかで感じる不満と不公平さについても明らかとなった。「問 17 非正規雇用や非正規で働くことについて」の自由記述において、その具体例を確認することができる。例えば、正規職員と業務内容は変わらないけれど給与は異なる、正規職員の業務負担が非正規職員よりも少ない場合がある、給与と仕事の質量が比例するようにしてほしい、といった趣旨の声である。非正規職員として働いているけれど残業やサービス残

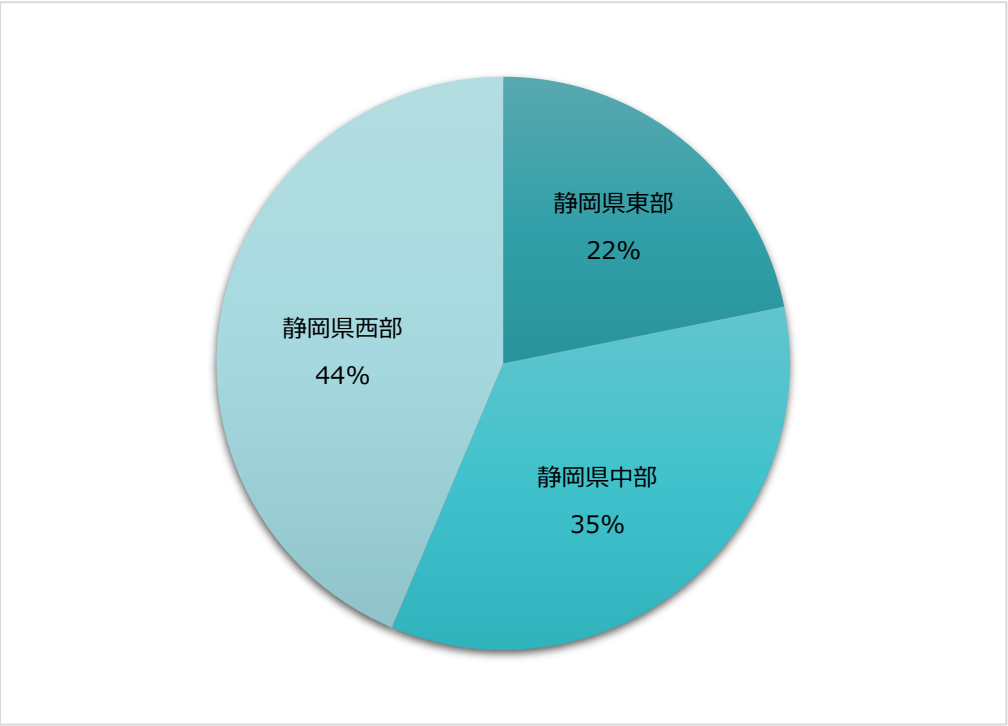
業もある、非正規にも正規と同等の資格や能力を求めするのであれば報酬も上げるべきだと思う、といった趣旨の声もあった。これらの声をまとめると、非正規という形で働いているため正規の職員と比べて受けられる待遇は厚くない一方で、実際に行っている業務や働き方は正規職員と同等のものであるという状況があり、その不公平さに不満感を抱いている、という事例があることが伝わってくる。「問 16 必要としている支援」についてたずねた問いで最も多かった回答には、「正社員と非正規社員の待遇差の改善（賃金、手当、福利厚生、教育など）」が挙げられている（252 人中 154 人：回答者の約 61 パーセント）。非正規雇用と正規雇用の待遇の違いやそれらに関する不満感と不公平感についての結果を鑑みると、今回の調査結果は、現状の働き方と待遇に関する実態の調査を進めて、その実態の理解に努めるとともに、その理解をもとに働き方と待遇との関係性を整理する必要性があることを示した結果であると考えられる。

非正規雇用で働くことについての認識の多様性についても述べておきたい。非正規雇用で働く人のなかには、自分が望む就労状況を得ていると感じている人もいる。例えば、今回調査の「問 15 理想の就労状況」の回答では、約 10 パーセントの人が「現在、理想の就労状況にある」を選択している。また、「問 13 非正規で働いてきたことが影響して起きている／起きたと感じるライフイベント」においても、「自分の趣味や好きな事に時間が使えたこと」と回答している割合が約 24 パーセント（252 人中 60 人）であった。自分が望む就労状況を得ていると感じている人と感じていない人がいるように、非正規雇用で働くことについての認識は多様であった。そして、この結果をもとに考えると、非正規雇用で働く人を取り巻く状況も多様であることを推測することができる。どのような状況にいる人がどのような支援を求めているのか等について更なる理解を深めたうえで、それぞれの状況に合った支援を検討していくことが望まれる。

本調査は、静岡県男女共同参画ポータルサイト「あざれあナビ」にて調査参加者を募集し、ウェブ上の回答フォームにて回答をお願いする形で実施されたものである。調査対象として当てはまる人々全員の名簿等を基にした無作為抽出調査ではないため、本調査の結果は静岡県全域の非正規雇用で働く女性の一般的な回答傾向であると解釈することはできない。その一方で、本調査の目的は、女性の非正規労働者が現在抱える不安や課題、必要な支援等を明らかにすることであった。本調査の結果は静岡県全域の非正規雇用で働く女性一般の回答傾向であるとは言えないが、本調査で明らかとなった傾向や特徴は事例として、現状の理解や今後の支援方策に寄与するものであると考えられる。

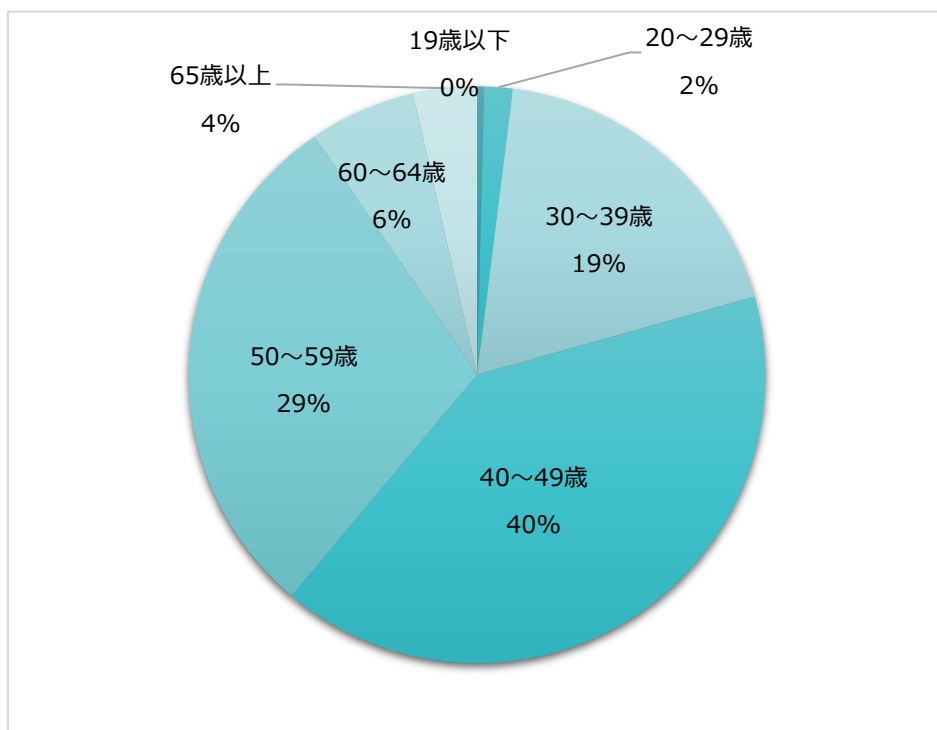
問1 居住地域 (n=252)

居住地域	度数	%
静岡県東部	55	22%
静岡県中部	87	35%
静岡県西部	110	44%
全体	252	100%



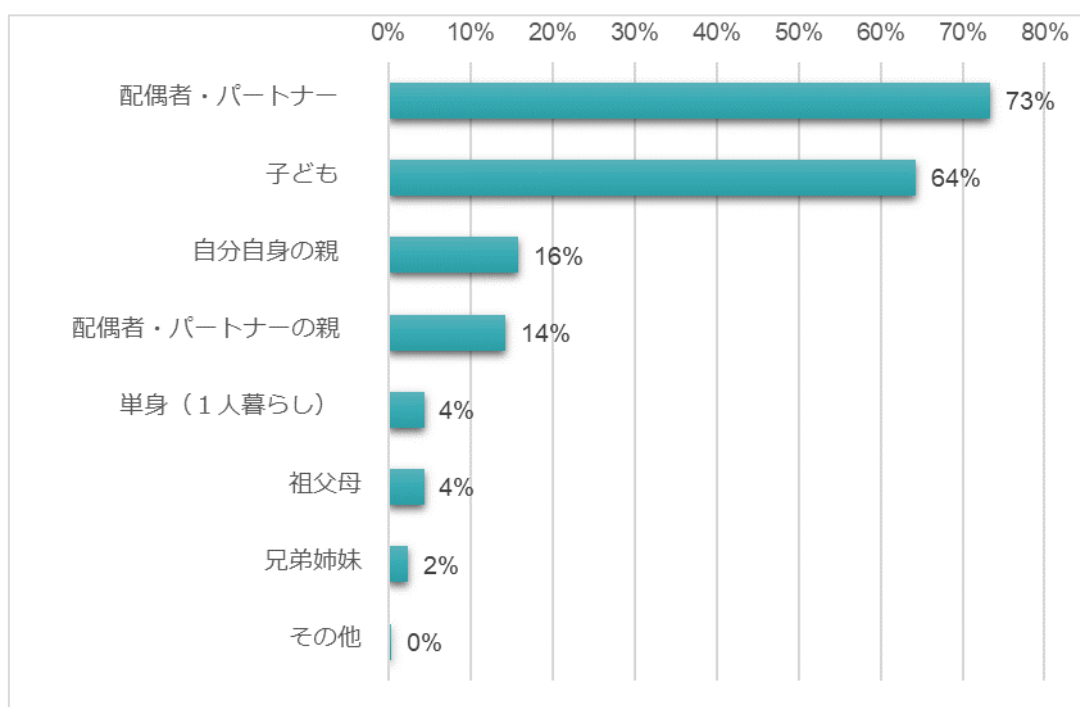
問 2 年代 (n=252)

年代	度数	%
19 歳以下	1	0%
20～29 歳	4	2%
30～39 歳	47	19%
40～49 歳	102	40%
50～59 歳	74	29%
60～64 歳	15	6%
65 歳以上	9	4%
全体	252	100%



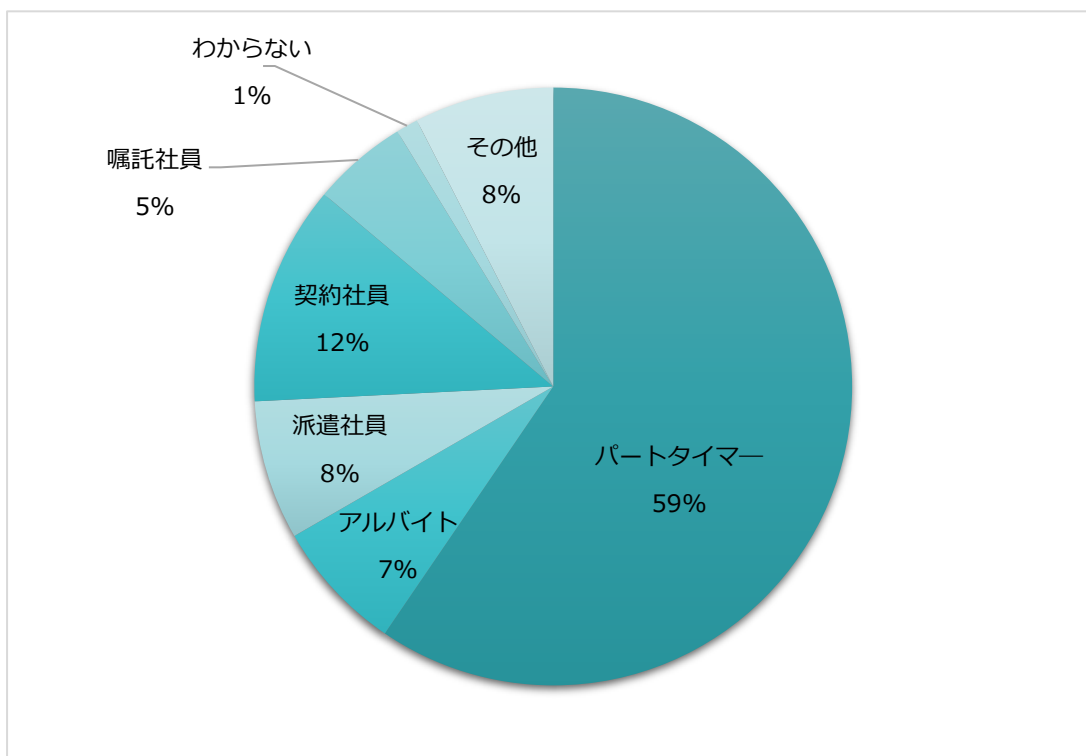
問3 同居家族(同居している人)(複数回答) (n=252)

同居家族(同居している人)	度数	%
単身(1人暮らし)	11	4%
配偶者・パートナー	185	73%
子ども	162	64%
自分自身の親	40	16%
配偶者・パートナーの親	36	14%
祖父母	11	4%
兄弟姉妹	6	2%
その他	1	0%
全体	252	179%



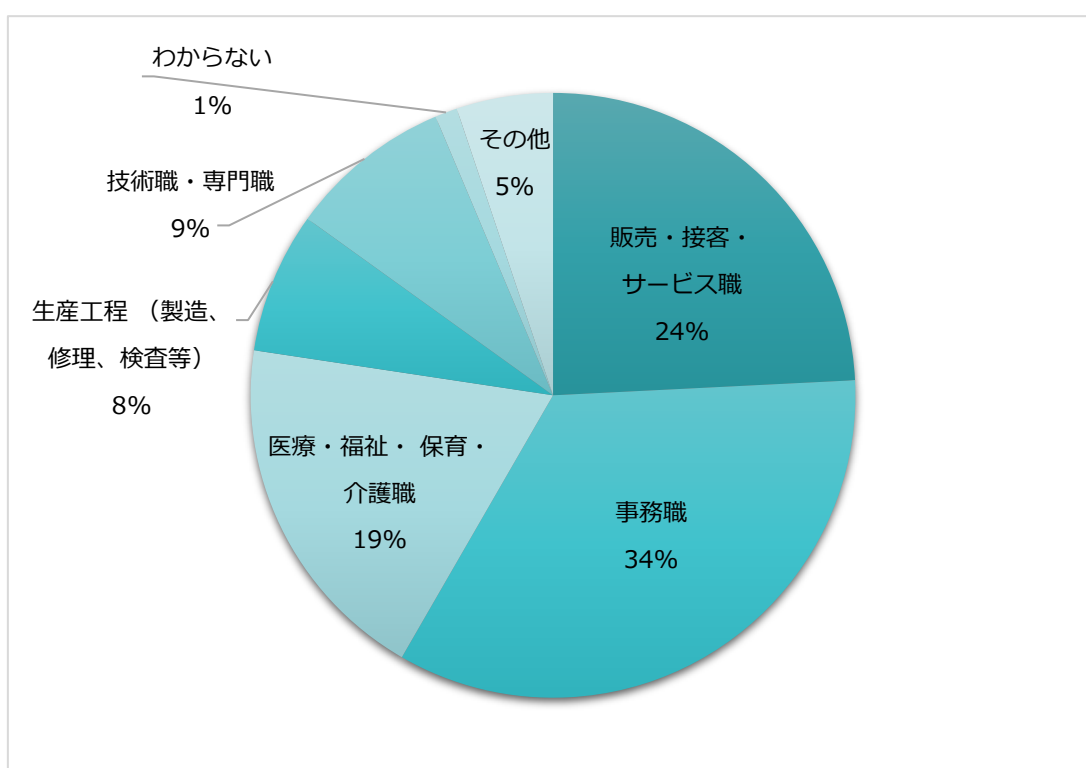
問 4 現在の雇用形態 (n=252)

現在の雇用形態	度数	%
パートタイマー	150	60%
アルバイト	18	7%
派遣社員	19	8%
契約社員	30	12%
嘱託社員	13	5%
わからない	3	1%
その他	19	8%
全体	252	100%



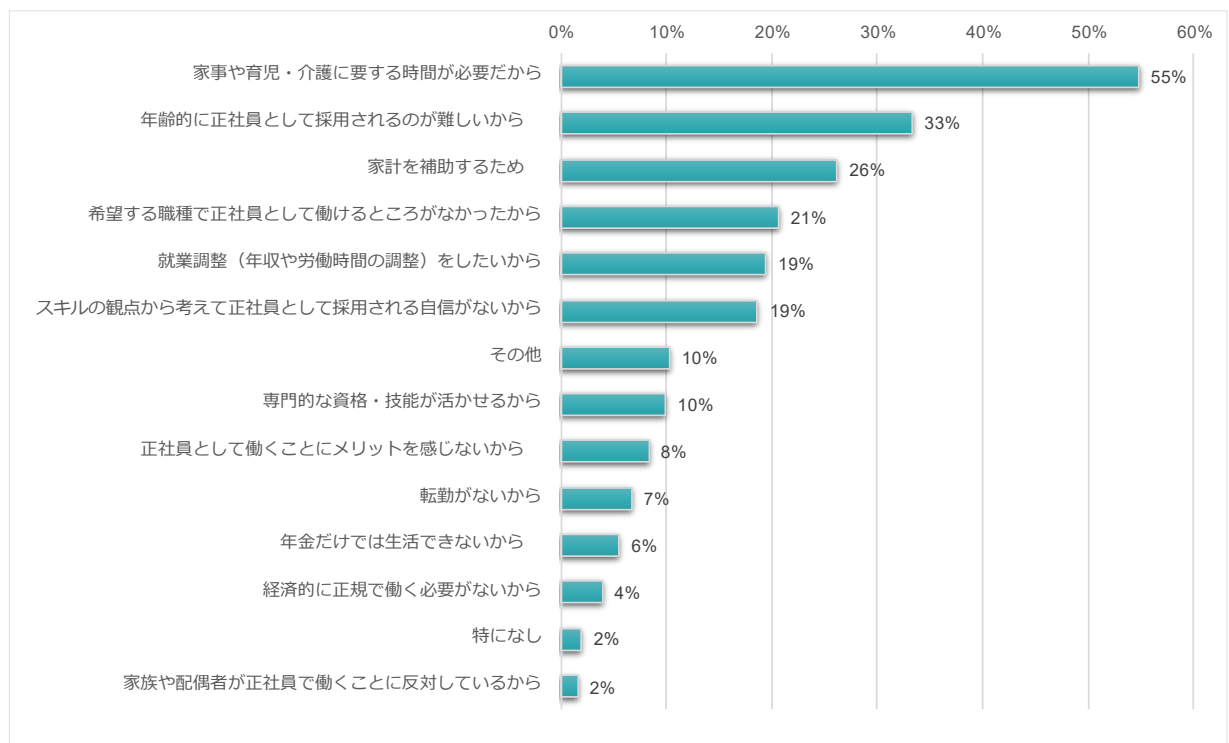
問 5 現在の仕事の職種 (n=252)

現在の仕事の職種	度数	%
販売・接客・サービス職	61	24%
事務職	86	34%
医療・福祉・保育・介護職	48	19%
生産工程（製造、修理、検査等）	19	8%
技術職・専門職	22	9%
わからない	3	1%
その他	13	5%
全体	252	100%



問 6 非正規で働いている理由(複数回答可) (n=252)

非正規で働いている理由	度数
年齢的に正社員として採用されるのが難しいから	84
スキルの観点から考えて正社員として採用される自信がないから	47
家事や育児・介護に要する時間が必要だから	138
就業調整(年収や労働時間の調整)をしたいから	49
希望する職種で正社員として働けるところがなかったから	52
専門的な資格・技能が活かせるから	25
転職がないから	17
経済的に正規で働く必要がないから	10
年金だけでは生活できないから	14
家計を補助するため	66
家族や配偶者が正社員で働くことに反対しているから	4
正社員として働くことにメリットを感じないから	21
特になし	5
その他	26
全体	252



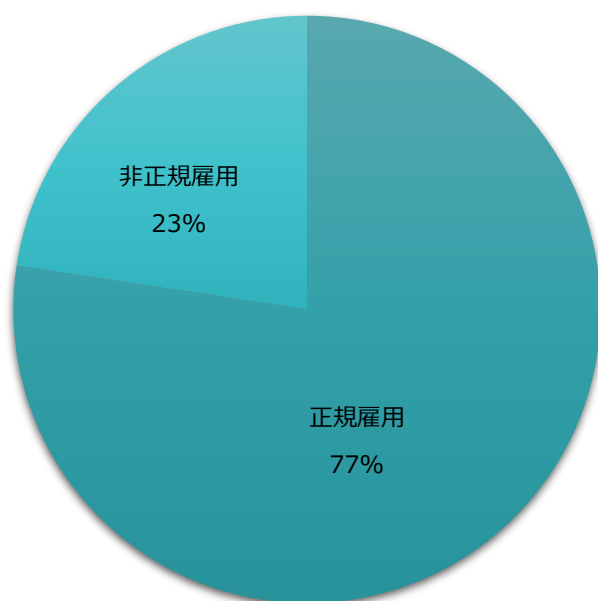
問 6 非正規で働いている理由

【その他 自由記述コメント】

- 正社員の面接に受からないから。
- 正社員へ切り替えてくれない。
- 正社員で勤めていたのですが休職後に体調の関係でフルタイムの勤務が難しくなった為、会社からパートタイマーになるよう勧められました。
- 同じ職場で 20 年働いていて、能力的にも問題がないと思うが、事業所が財政難のため身分が変わらない。
- 子育て時代にパートで働き出したが、20 年経っても正規雇用してもらえない。
- 年齢の高いパートは正社員にしてもらえない。正社員登用条件が不鮮明。正社員にもらえていない人は、若い人ばかり。正社員にもらえない理由なんて、聞ける職場ではない。
- 子供が小さく正規雇用で雇ってくれる企業が少ないから。
- 氷河期世代で正社員として働くチャンスを掴めなかった。
- 始めはパートでしか働けない職場だったから。
- 非正規雇用の求人しか採用されないから。
- 就職時に家庭の事情でパートタイムで働き始め、そのまま働き続けている。
- 働き方をあまり限定しないから。
- まだ年金は受給しておらず、生活費を確保するため。
- 平日 8 時間も他人と働きたくないから。パワハラに近い扱いを受けたので。
- 地域子育て応援活動をしているので、時間を調整したいから。
- 市民活動に従事しているため。
- 定年まで正社員で長く勤務したため、フルでなく自分の時間も作りながら働きたかったから。
- 正社員で縛られたくないので。
- 自分の体調に合わせた時間で働きたかったから。
- 一度仕事を辞めているから。
- 会社の都合だと思う。
- 自分の体力的に、家事育児との両立ができるギリギリの仕事量だから。
- 希望する職種の仕事が地域にないから。
- 子育て後に仕事復帰をしたが、まだ採用試験に合格していないから。
- 雇用契約書に書かれているので。
- 正社員だと夜勤や残業があり、家族の負担が増える。

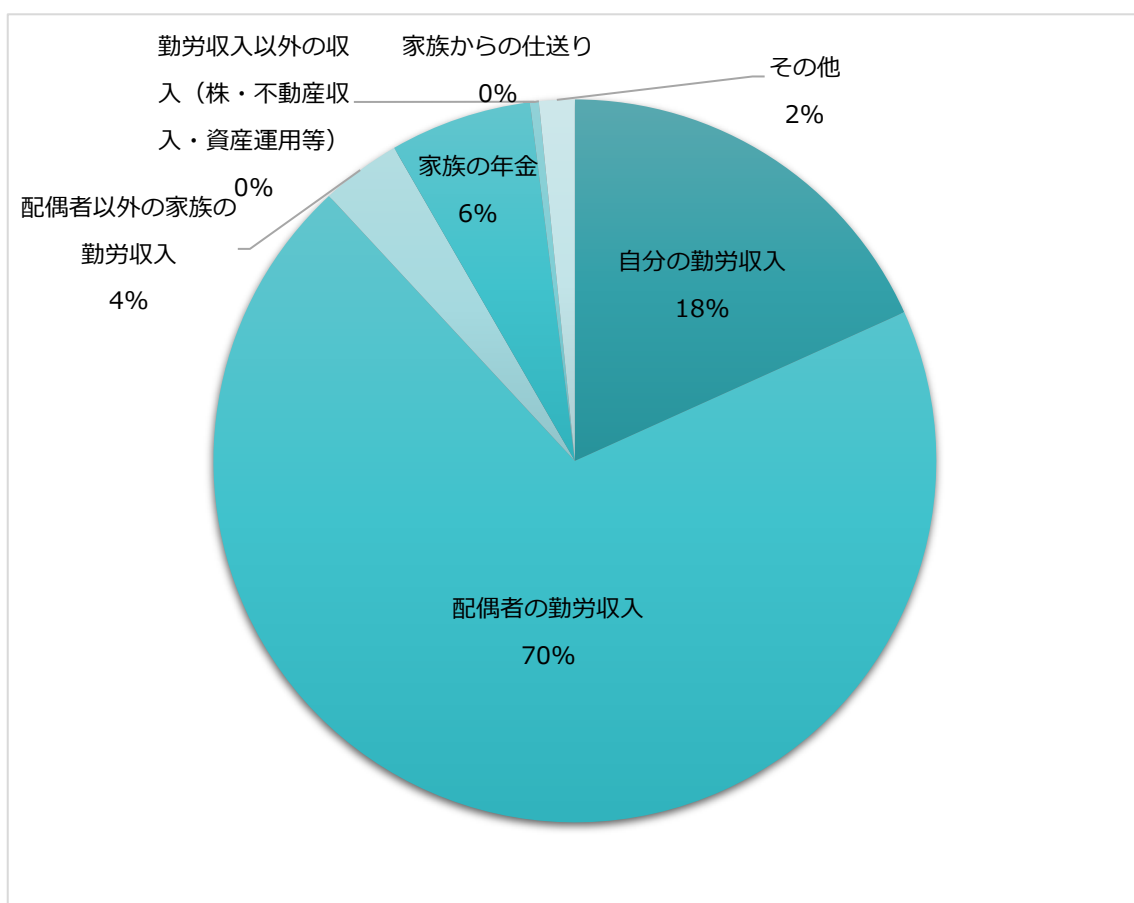
問 7 初職(学校卒業後に初めて就いた仕事) (n=252)

初職(学校卒業後に初めて就いた仕事)	度数	%
正規雇用	195	77%
非正規雇用	57	23%
その他	0	0%
全体	252	100%



問 8 主な家計収入（n=252）

主な家計収入	度数	%
自分の勤労収入	46	18%
配偶者の勤労収入	176	70%
配偶者以外の家族の勤労収入	9	4%
家族の年金	16	6%
勤労収入以外の収入（株・不動産収入・資産運用等）	1	0%
家族からの仕送り	0	0%
その他	4	2%
全体	252	100%

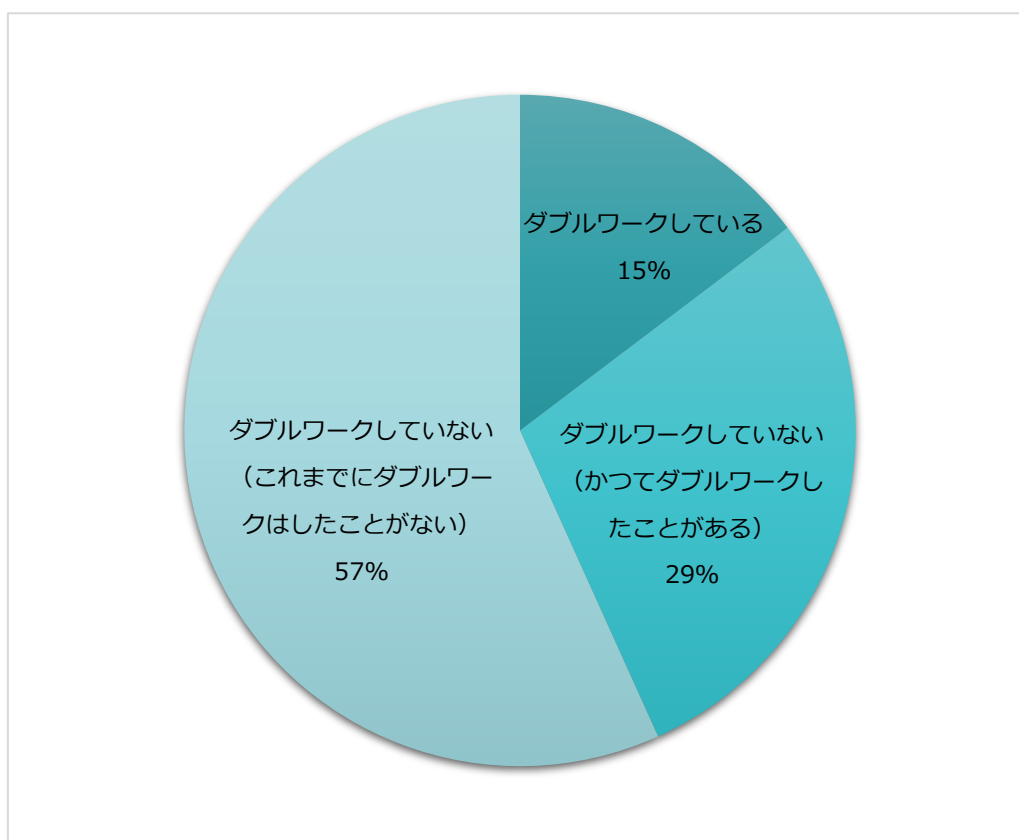


【その他 自由記述コメント】

- 基本的に、夫に『お願いします』と言わなければ 生活費をいただくことはできません。
- 夫婦の収入を出し合っている。
- 遺族年金。
- 主は親の年金だが、自分の食費・生活雑費などは自分。

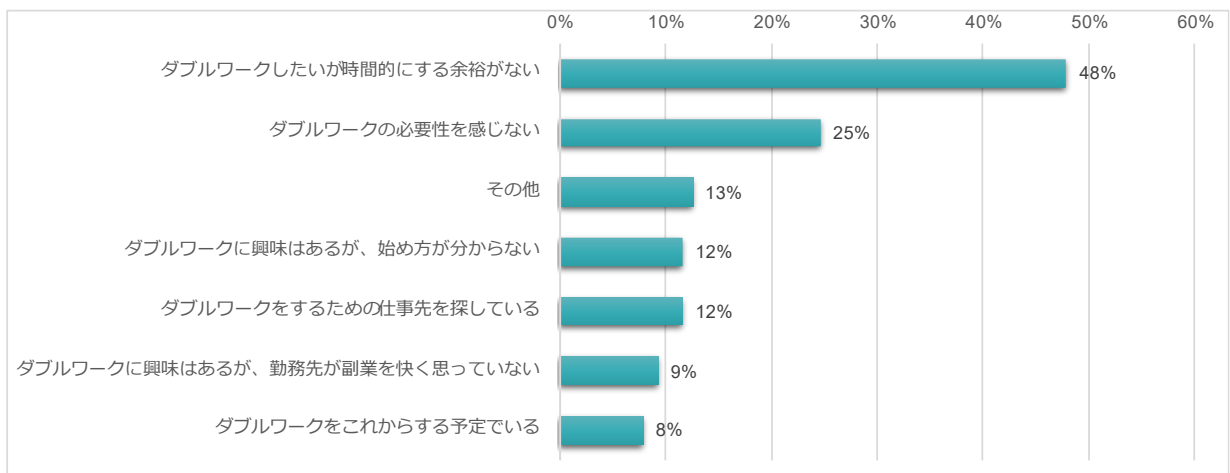
問 9 ダブルワーク(2つ以上の仕事・副業)しているか (n=252)

ダブルワーク(2つ以上の仕事・副業)しているか	度数	%
ダブルワークしている	37	15%
ダブルワークしていない(かつてダブルワークしたことがある)	72	29%
ダブルワークしていない(これまでにダブルワークはしたことがない)	143	57%
その他	0	0%
全体	252	100%



問 10 前問でダブルワークをしていないと回答された方へ、していない理由（複数回答可）
 (n=215)

ダブルワークしていない理由	度数
ダブルワークの必要性を感じない	53
ダブルワークしたいが時間的にする余裕がない	103
ダブルワークに興味はあるが、始め方が分からない	25
ダブルワークに興味はあるが、勤務先が副業を快く思っていない	20
ダブルワークをするための仕事先を探している	25
ダブルワークをこれからする予定でいる	17
その他	27
全体	270



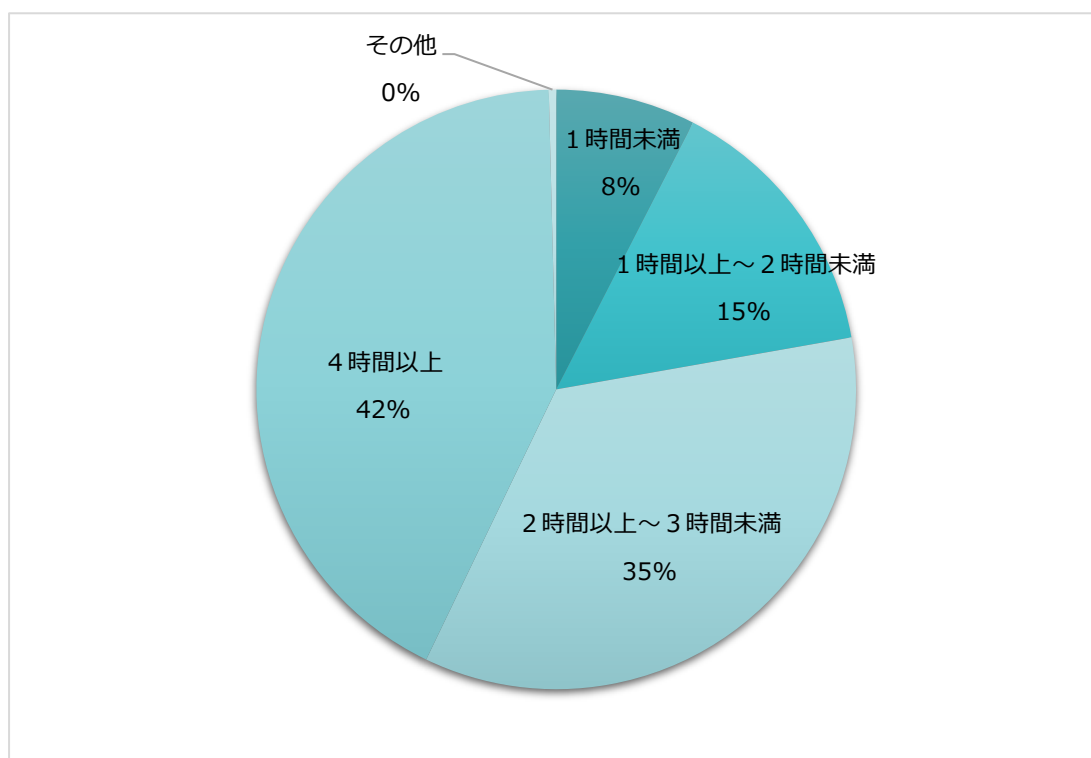
問 10 ダブルワークをしていない理由

【その他 自由記述コメント】

- 勤務先がダブルワーク禁止の職場である。
- 勤務先に兼業の審査があり難しい。
- ダブルワークが出来ない様な、複雑な就業規定になっている。
- ダブルワークができない。
- 家族の同意を得られない。
- ダブルワークをしたいが、しても良い職場かどうかがわからずにいる(聞きたいが聞けずにいる)。
- ダブルワークができるほどの体力がない。
- 年齢的にダブルワークの体力がない。
- 低賃金で残業もしている中で、ダブルワークする時間も体力も気力も無い。
- 体力的なことを考えると条件を選ばざるを得ない。
- 家事育児があり、時間的にも身体的にも無理だと思う。
- 体調を整えたいため。
- 体調がよくなったら考えるかもしれないです。
- 効率的に稼げない。
- ダブルワークにした場合、現状ではどちらにも社会保険完備されておらず、経済的に損。
- 現在は扶養調整しているが、今後はどうするか未定。
- 本当は正規で働きたいので ダブルワークしたくないが、収入が少ないので検討中。
- ダブルワークしたいと思える仕事が無い。
- ダブルワークしたくても子供が小さいため留守番ができない。見守る人が居ない。

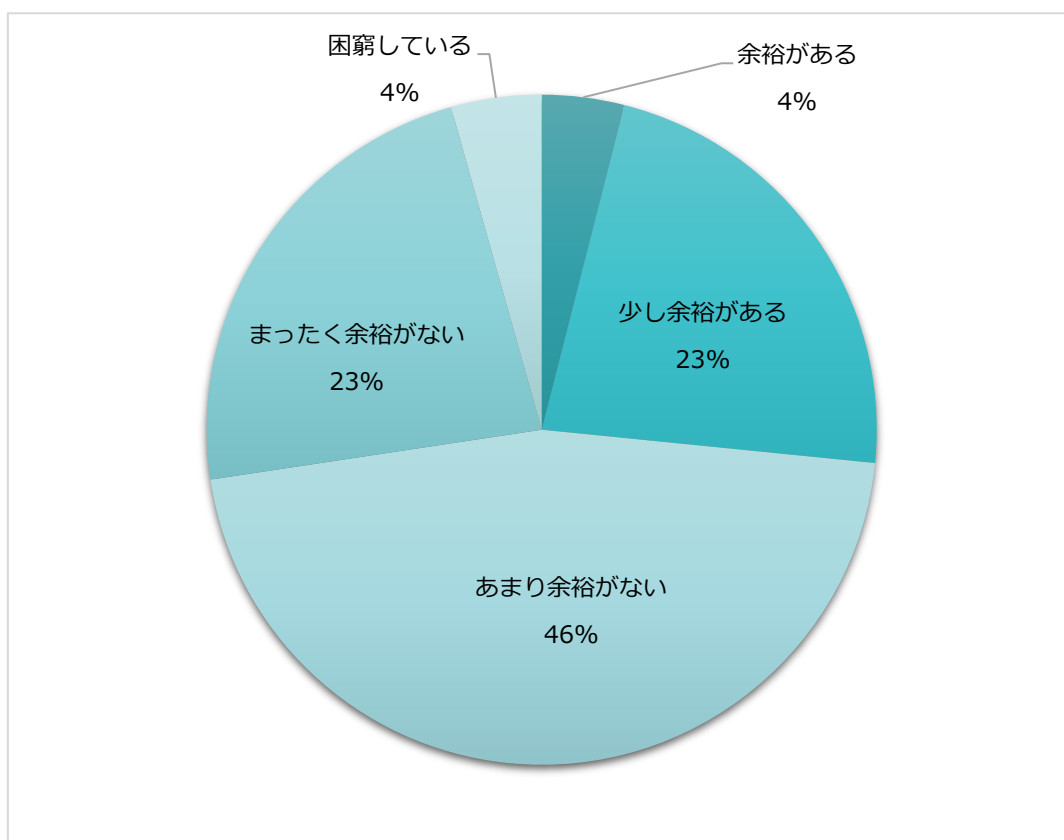
問 11 1日に家事や育児・介護に要する時間 (n=252)

1日に家事や育児・介護に要する時間	度数	%
1時間未満	19	8%
1時間以上～2時間未満	37	15%
2時間以上～3時間未満	88	35%
4時間以上	107	42%
その他	1	0%
全体	252	100%



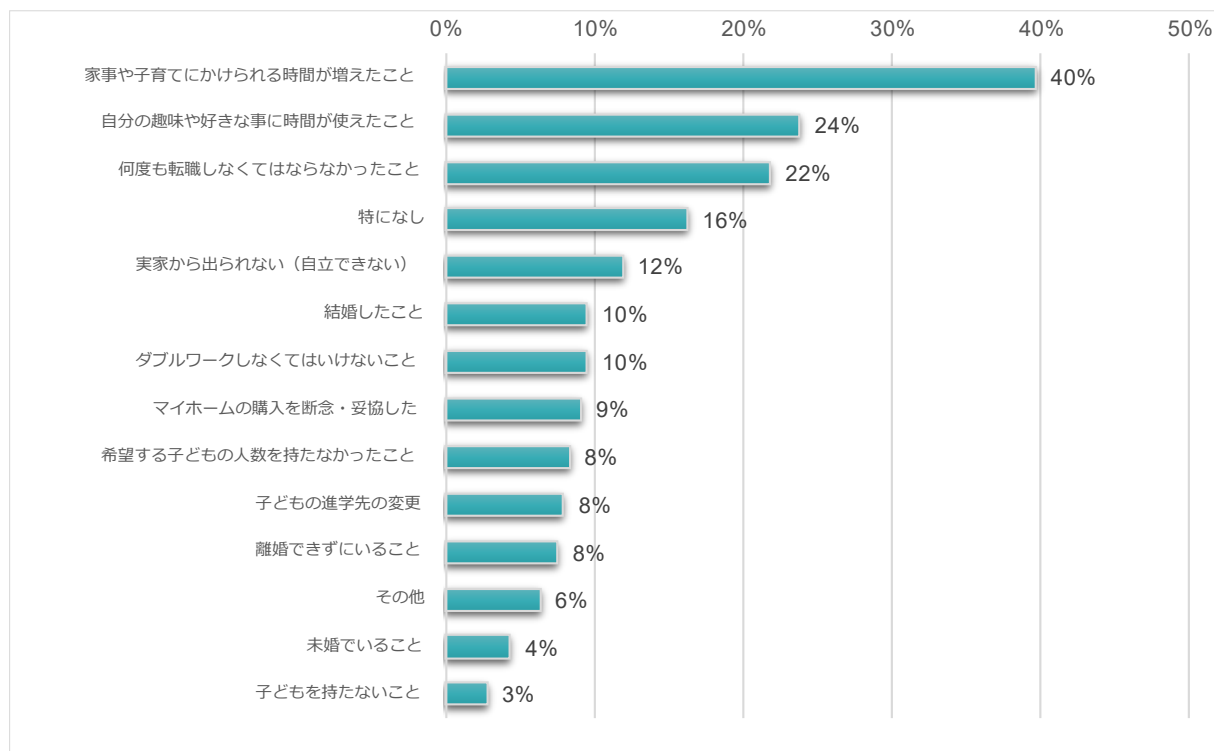
問 12 現在の生活の状態 (n=252)

現在の生活の状態	度数	%
余裕がある	10	4%
少し余裕がある	57	23%
あまり余裕がない	116	46%
まったく余裕がない	58	23%
困窮している	11	4%
全体	252	100%



問 13 非正規で働いてきたことが影響して起きている／起きたと感じるライフイベント
(複数回答可) (n=252)

非正規で働いてきたことが影響して起きている ／起きたと感じるライフイベント	度数
未婚でいること	11
結婚したこと	24
離婚できずにいること	19
子どもを持たないこと	7
希望する子どもの人数を持たなかったこと	21
ダブルワークしなくてはいけないこと	24
マイホームの購入を断念・妥協した	23
子どもの進学先の変更	20
実家から出られない(自立できない)	30
何度も転職しなくてはならなかったこと	55
家事や子育てにかけられる時間が増えたこと	100
自分の趣味や好きな事に時間が使えたこと	60
特になし	41
その他	16
全体	252



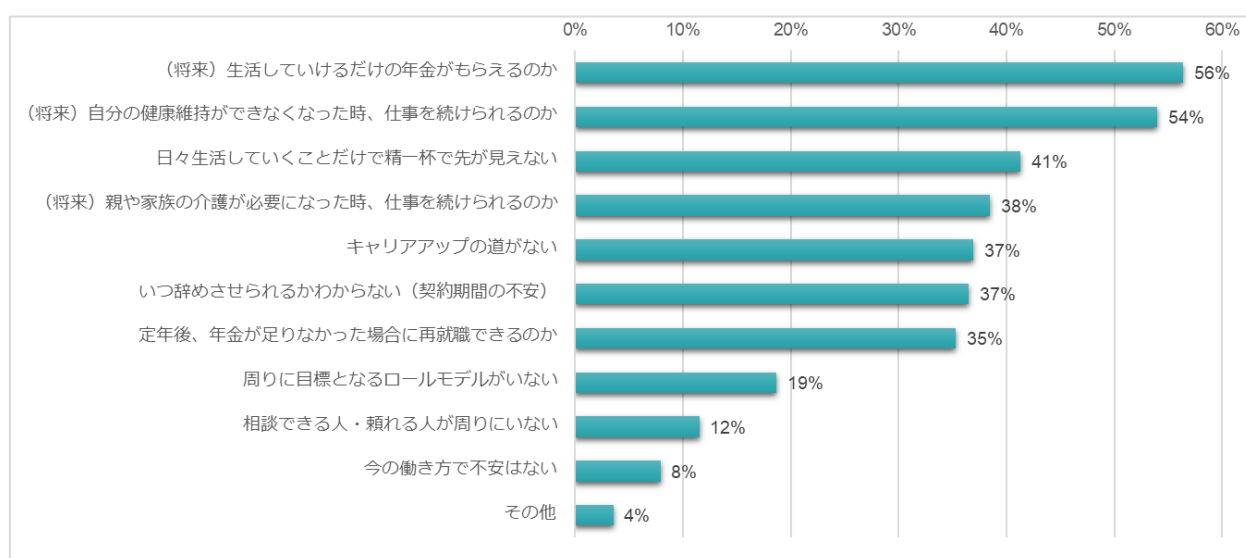
問 13 非正規で働いてきたことが影響して起きている／起きたと感じるライフイベント

【その他 自由記述コメント】

- スキマ時間に好きなことができる。
- 自分で自由に使える小遣いを手に入れられた。
- ボランティアなど仕事以外の選択肢を持てること。
- 正規雇用での就業がさらに遠退いた。
- 仕事ではキャリアアップの道は閉ざされた。
- 仕事に打ち込む時間が少ない。業務をやりこなせない。
- 生活費に余裕がなく、仕事以外の生活で楽しみを得ることができない。
- 昇給もボーナスも無いこと。生活に余裕が無い。福利厚生が充実していない。
- 収入が少なく、家計に余裕がない。
- 国民年金が納めきれない。『非正規』というだけで身分的にみじめな思いをしている、自分のことは後回しにせざるを得ない。
- 老後資金の不安。
- 自分のために時間を使えない。
- 大学生である子供への負担。
- 子供といられる時間が減った。
- 引越し(環境の変化)。
- 家の建て替え、リフォームを断念。

問 14 非正規雇用で働いていることで、不安に思っていること（複数回答可）（n=252）

非正規雇用で働いていることで、不安に思っていること	度数
（将来）親や家族の介護が必要になった時、仕事を続けられるのか	97
（将来）自分の健康維持ができなくなった時、仕事を続けられるのか	136
いつ辞めさせられるかわからない（契約期間の不安）	92
相談できる人・頼れる人が周りにいない	29
周りに目標となるロールモデルがない	47
キャリアアップの道がない	93
日々生活していくことだけで精一杯で先が見えない	104
（将来）生活していけるだけの年金がもらえるのか	142
定年後、年金が足りなかった場合に再就職できるのか	89
今の働き方で不安はない	20
その他	9
全体	252



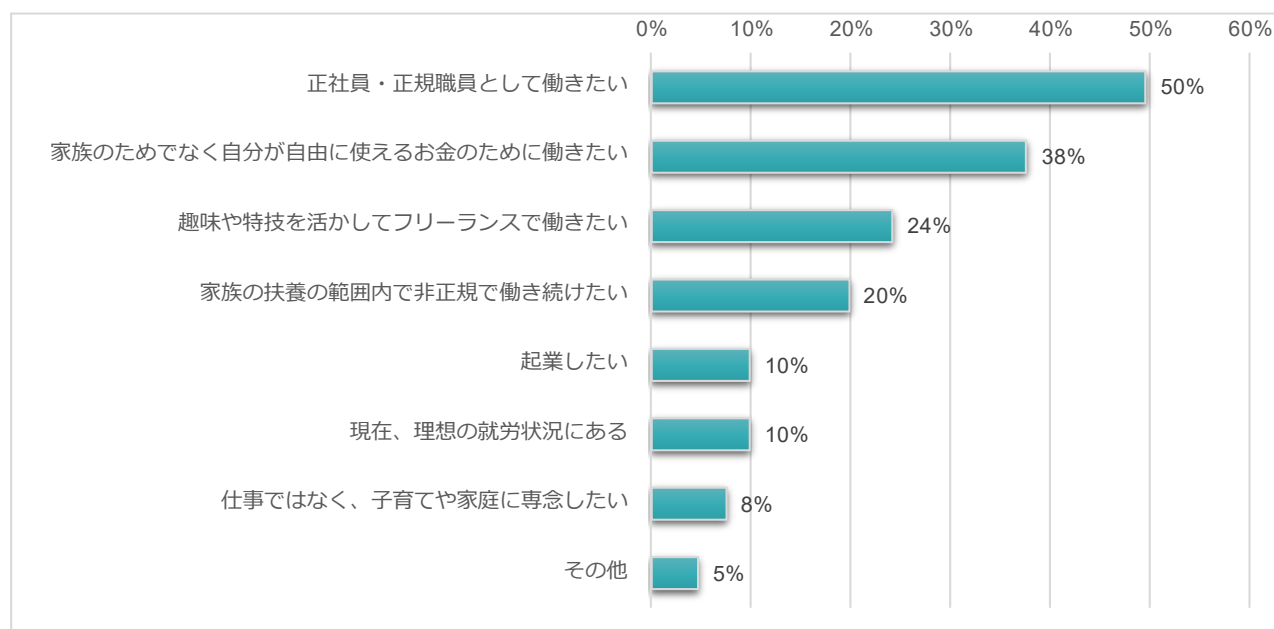
問 14 非正規雇用で働いていることで、不安に思っていること

【その他 自由記述コメント】

- 老後の為の貯蓄が足りない。
- お金が足りなくなりそう。
- 給料が少ないこと。
- 離婚した場合、経済的に困ると思う。
- 専門的業務の割に評価の機会が乏しい。賞与や退職手当がないこと。
- 非正規なのに正社員の仕事を振られる。
- 将来的に働き方を変えて収入を増やしたいが、仕事を変えなければ実現しそうにない。
- 『非正規』というだけで、みじめさを感じずにいられない。
- 現在、夫の介護をしながらのパート。

問 15 理想の就労状況（複数回答可）（n=252）

理想の就労状況について	度数
家族の扶養の範囲内で非正規で働きたい	50
正社員・正規職員として働きたい	125
趣味や特技を活かしてフリーランスで働きたい	61
家族のためでなく自分が自由に使えるお金のために働きたい	95
起業したい	25
仕事ではなく、子育てや家庭に専念したい	19
現在、理想の就労状況にある	25
その他	12
全体	252



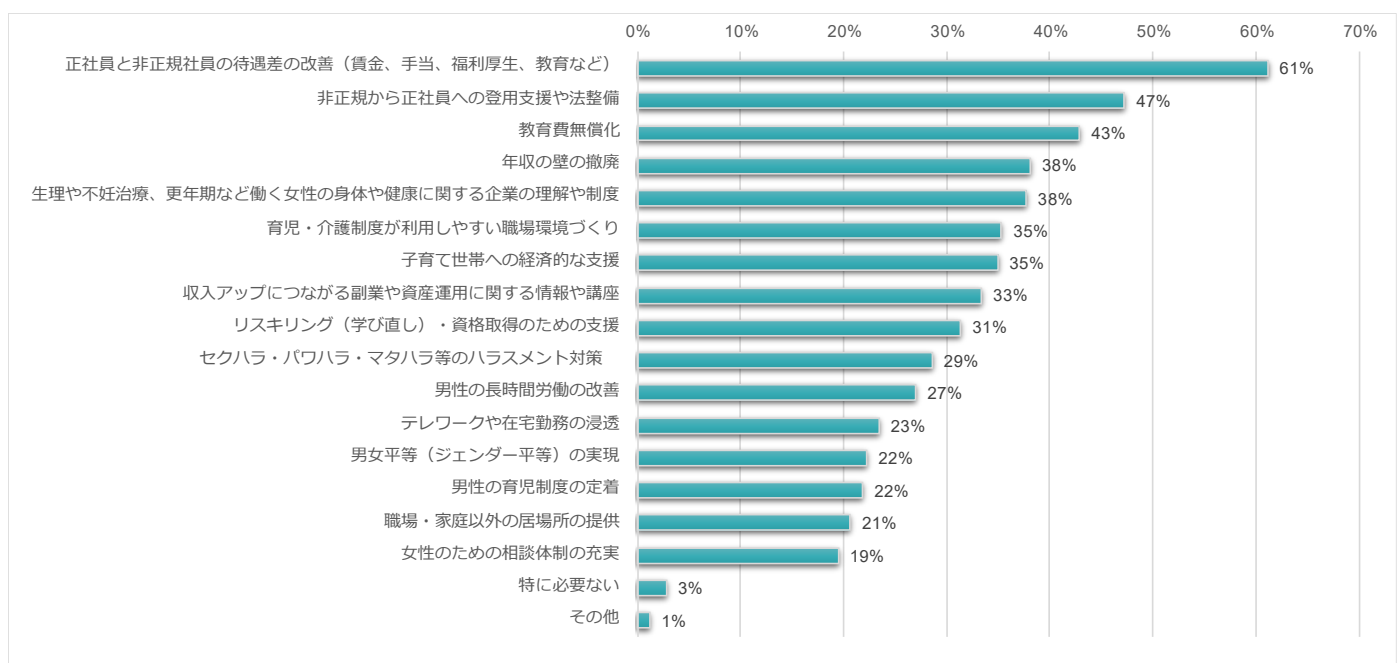
問 15 理想の就労状況

【その他 自由記述コメント】

- 趣味・旅行等に使えるお金も確保できる賃金で働きたい(現在は最低賃金)。
- 非正規でも身分の差を感じずに働きたい。
- 非正規でもいいが、仕事に見合った給料になってほしい。
- 非正規でもいいが、生活に困らないような収入がほしい。
- 扶養の枠が問題。
- もっと給料が上がるなら、扶養範囲内ではなく、もっと働きたい。
- 年齢的にも体力的にも、いつまでがんばれるか心配。ボーナス、保障、昇給がなく、どんなにがんばっても静岡市の最低賃金のみ。
- 家庭を持って子供のために働きたい。
- まずは女1人でも生きていける収入を！ 1つではなく複数。ボランティアや趣味の時間も取れる！
- 就労状況は今のまままで良いが、責任がある仕事なのに最低賃金に近いので、そこを改善してほしい。
- 時間を自由に使える働き方をしたい。
- 家の事も出来て、外に出て人と接する事も出来る。特に無理をしてまで仕事を続けたいとも思わない。

問 16 必要としている支援（複数回答可）（n=252）

必要としている支援	度数
女性のための相談体制の充実	49
リスキリング(学び直し)・資格取得のための支援	79
年収の壁の撤廃	96
非正規から正社員への登用支援や法整備	119
正社員と非正規社員の待遇差の改善(賃金、手当、福利厚生、教育など)	154
子育て世帯への経済的な支援	88
教育費無償化	108
男女平等(ジェンダー平等)の実現	56
セクハラ・パワハラ・マタハラ等のハラスメント対策	72
職場・家庭以外の居場所の提供	52
男性の育児制度の定着	55
男性の長時間労働の改善	68
育児・介護制度が利用しやすい職場環境づくり	89
生理や不妊治療、更年期など働く女性の身体や健康に関する企業の理解や制度	95
テレワークや在宅勤務の浸透	59
収入アップにつながる副業や資産運用に関する情報や講座	84
特に必要ない	7
その他	3
全体	252



問 16 必要としている支援

【その他 自由記述コメント】

- 大学の学費の改善、すでに多くの学費を払い、老後の資金をそちらに費やした家庭への支援をしてほしい。
- 正社員と非正規が互いの雇用について語り合える状況。
- 社会保険制度の見直し(求人には『社会保険完備』と書かれていても、実際に話を聞いてみるとそうではないところが多い)。

問 17 非正規雇用や非正規で働くことについて(自由記述)

【やりがい搾取】

- 働きながら子どもを育てることが当たり前になりつつあるが、保育仕事の賃金が低すぎる。さらに非正規の保育士は、最低賃金に近い時給で責任ある仕事を任されていて、やりがい搾取である。賃金が格差をひろげている職種の一つだと思う。(50代)
- 図書館、博物館、美術館などで働いてきたが、正規雇用がほぼなく、最低賃金ギリギリの時給で働いているケースが多い。国家資格や専門知識が必要な職業にも関わらず、この待遇に納得がいかない人が多いと思う。この仕事をやりたいという人たちの善意で成り立っている面がある職業だということを多くの人に知って欲しい。(40代)

【社会の仕組みづくり】

- 非正規では給与が低く、将来設計が難しい。若い人たちが結婚して子どもを育てるということを諦めることのないよう、社会の仕組みを変えて行かなければならないと思っている。(50代)
- 時代的なこともあるが、正規時代は残業が多く、子育てとの両立は難しかった。正規社員の大変さも理解ができるので待遇が違うことも仕方がないと思うが、正規と非正規という二極でなくもっとグラデーション的な制度があればよいと思う。(50代)
- あえて非正規で働いている方も少なからずいることを理解し、全てにおいて選択制度を設けてほしい。(40代)
- 子育て支援ばかりを言われているが、真面目に働いているのに、支援も受けられず取り残されている人たちがたくさんいる。(40代)

- 賃金が上がらないなら、せめて公務員の副業禁止を見直してほしいです。非正規で手取り16万。金額は定年まで勤めても横ばいです。副業禁止。生きていけません。一律ではなく賃金に応じて柔軟に対応してほしい。(30代)

【非正規の立場】

- 前職の経験や知識があり、現職で提案、稟議をしても、パートのくせにという目があり取り合ってもらえず、職場が良くなるきっかけすら作れない。気づいていながらも、立場が上にならないと通らない。雇用条件で偉い、偉くないが決まるのが不自然だと常に思う。(40代)
- 『非正規』ということにこんなにみじめな思いをするとは思いませんでした。このアンケートを回答していて、『非正規』という単語が差別用語にさえ感じてきました。50歳を迎えてしまった今、どうせ『非正規』でいるならば、所在地が県外ということで今まであきらめていた職業についてから、一生を終えたいと思っています。(50代)
- 自宅の建て替えを考え、住宅展示場に行ったら、私が非正規だと知ると「正規社員になったらまた来てください」と見学する前に言われ悲しかったことがある。(40代)

【正社員の働き方(残業・転勤・長時間労働)】

- 正規だと残業が多く負担になります。(50代)
- 今の会社は正社員登用制度を設けているのでそれは有り難いが、正社員＝転勤必須、でなければ正社員雇用を希望する。(30代)

- 正規雇用で勤務すると残業がついてくる。残業ができない＝フルタイムパートとなってしまう。でもこれってほとんど正社員ですよ。ね。時給が安く使い捨てられている。また正規雇用にあたっては9時-18時といった長時間勤務が必要。子育てにおいてこれでは実家等の支援がないと両立できない。子どもと向き合う時間がなくなる。(40代)
- 正規社員だと夜勤や残業があるため、家族の負担を考えると踏み切れない。(40代)

【高齢おひとり様】

- 年齢的に正規で働くことは諦めているが、一人暮らしで貯蓄もなく、働けなくなる＝生活費がなくなる不安が常にある。出来るだけ年金は満額で貰いたいので頑張っているが、親が残した家と墓の管理等、今の生計では到底余裕はなく、楽しみも何もないので、日々生活していても張り合いがない。子育て支援ばかりが優遇されているが、一人暮らしの高齢者にも何か支援が欲しい。(60代)

【ジェンダー】

- 本当の意味での男女共同参画を、働く大人やパパ・ママ両者、家族が学び取り入れていき、家庭から変革し、地域、社会が変わってほしい。非正規で時間をつくらないと、子育てや介護、家族のサポートや、活動も難しく、働く制度や、会社が価値観や環境を変えなければ、結婚後や産後に女性の負担が増えるばかりだと感じる。(40代)
- 社会全体に流れる「女が家事育児を行うのが普通」、もしくは「女が家事育児時間が男より多いのは当たり前」的な雰囲気があるとかならない限り、非正規は減らないと思う。(40代)

- 家事育児、介護を女性が担うものという考え方を変えていく必要があると常に思います。家事育児、介護など女性が担ってきたことを、職業として社会の中で確立したり、男性の労働時間を短くしたり、各種制度を使いやすい環境に整えたりしていくべきだと思います。一人ひとりが有りたい生き方を自分で選択できるような社会になることを願います。(30代)

- 50代の私たちの年代は、結婚したら離職するという背景があり、子育てが終わり、正職員で働きたくてもそのような就職先がない。税金等、払うものばかりで、国や県の恩恵を全く受けることがない。子育て世代のことばかり言うが、一生懸命働いても非正規雇用で手取りが少ないこの年代のことを国や県はどのように考えているのか？子育て世代の方が育児休暇や働き方改革で、フレックス制度もあり、正職員で働いている人が多いのに…。もっとバランスよく考えてほしい。子育て世代ばかりおかしい。また病気で仕事ができずに生活保護を受けるのは仕方ないが、そうではなく、一生懸命働いて納めるものを納めて、手取り10万の私たちより、働けるのに働きもせず、生活保護を受けている方の方がお金をもらう。おかしい。行政は何を見ているのか…。悲しい。

- 最近が高齢出産も増えていて、祖父母世代も高齢になり介護が必要な状態だったり、祖父母に子どもを長時間預けられる家庭ばかりではないと思います。また女性と男性でも子どもが産まれてからの、社会への関わり方に差があると思います。モデルとなる取り組みをしている他県を参考に子育てしやすい静岡県になることを期待します。(30代)

- 労働に対する需要と供給のバランスが完全に崩れていると思う。それに社会全体にとって「女性が働くこと＝家計の補助」だと思ふことは危険だともっと知る必要がある。私自身も結婚したら、正社員を辞めて非正規で働き、家計を補助すること、家事を女性が主に担うことが当たり前だと思っていた。それは違うと気づいた頃にはもう遅かった。昭和生まれなので、女性が働くことについての正しい教育を受けることもなかったこともあり、雰囲気ですり合っているものだと思ひ込んでいた。女性の非正規雇用問題は、自己責任では語れない難しい問題だと思ふ。(40代)
- 日本独特の縦社会の理不尽さに疑問を抱きつつも必死に耐えてきました。この生きづらさは私のせいではなく、社会の仕組みのせいだったのだと、ハラスメントの構造やフェミニズムの勉強をしてやっと気づきました。でももう気力も体力もすり減ってしまい、働くことよりも今は自分の気持ちを整えるのに精一杯です。もっと人権について幼い頃から考え、積極的に学べる国になるといいなと思ひます。(50代)
- 女性なので昼に職場の人にお茶入れをさせられています。個人のゴミも集めて回っています。差別だと思ひます。(50代)
- 女性は体調が不安定な事もあるし、職种的にも誰でも出来るような仕事を任せられがちで給料は安いし、なかなか稼ぐことはできない。結局、結婚して男性に頼らないと一人前の生活をするのは難しいという環境になっていると思ふ。逆に正社員になっても家の事ができないし、女性の負担が半端ない。女性が社会に出れば出るほど少子化は進むしジレンマですね。(40代)
- 国は、男と「つがい」でいてほしい考えでしょうが、女1人でも生きていける収入でなければ、子どもを持つと考える人は少なくなると怒りたくなります。(30代)
- 子育て中はパートタイムは勤務の融通がきいてよかったが、子どもが手を離れてフルタイムに近い働き方をするようになり、夫の扶養から外れても、時給は最低賃金に近く、千円に満たない。仕事内容などを考えると割に合わないかなと時々思うが、現在の賃金が会社からの評価かとも思ひし、やりがいはあるので、まあこんなもんかと深く考えないようにしている。でも「やりがい搾取」という言葉が時々よぎります。女性が普通に働いて、生活していけるだけの収入を得られるようにならないものか、とはよく思ひます。夫の収入があることを前提としたパートタイムの賃金体系は今の時代にはあっていないと思ひものの、現状として自分は夫の経済力に甘えていることが歯がゆいです。離婚したいとは思ひわないけれど、経済力がないことで離婚をためらっている女性がいたり、シングルマザーの経済的困窮は、個人の問題ではなく社会の問題です。女性が子育てなどでキャリアを中断しても、経済的自立できる世の中になればとは常々思ひています。(40代)

【正社員との待遇格差】

- 非正規雇用＝給料安い＝仕事の責任が軽いイメージがあるが、仕事の業務内容、負担に則した賃金体系になると良いなと思ひます。正社員でも仕事しない人はいるし仕事ができる人で非正規雇用の人もある。
- 非正規になり、仕事量、休暇は正社員と同じなのに、賞与が減給。(60代)

- フルタイムのパートで正社員と同じように働いているが、賃金などの待遇差に不満を感じます。(40代)
- 同一労働・同一賃金を望む。仕事の内容は高度なことをしているのに、待遇面で非常に格差があり、不満を感じる。正直、正規職員が給料の差があるほどの仕事をしているようには思えない。(50代)
- 正規と仕事内容は殆ど変わらないのに、待遇が違い過ぎる。派遣を拡大したのがそもそもその間違いであると思う。派遣法の改正。派遣雇用が減る方向に持っていけないと駄目。だがこの辺りは国の問題であるため全く期待はしていません。(40代)
- 非正規だから能力がない訳ではないと社会全体で認識して欲しい。身分制度ではないので、社会を構成する労働者の一人として人権を尊重して欲しいし、労働時間、仕事量、能力を正當に評価して見合った賃金にして欲しい。(40代)
- 正社員とほぼ変わらない仕事内容、同じ労働時間なのに、賃金が正社員に比べて低いのは不満である。ボーナスの有り、無しも大きい。(40代)
- 仕事の内容や責任が社員とあまり変わらないのに、給料は安いことが不満です。
- 10年働いているが、今後も正規雇用は期待できず、定年で退職となっても退職金がいただけない。これまで、残業もたくさんしてきたが、全てがサービス残業と片付けられてきた。どのように改善していいかわからない。(50代)
- 正社員並に責任を問われる。正社員と比べボーナス額がかなり低い。子どもの急な発熱などでの欠勤、遅刻早退が取りやすい。(これは一緒に働いている人達の雰囲気
- 気が主になると思います)(40代)
- 非正規なのに、正社員と同じ業務やその責任を求められる。今後も正社員雇用をしないのであれば、それを明確に教えて貰って、業務も時間も最低限にしてほしい。でないと、ダブルワークする時間と体力が必要です。(30代)
- 指示された仕事については一定の評価はいただけていると感じる。時給は勤続年数にほぼ係わらず一律であるため、やりがいを感じにくい。仕事に就いているだけ良いと思って頑張っている。(50代)
- 正社員と比べて勤務日数や時間が少ないので仕方ないのですが、ボーナスが無いのはちょっと悲しいです…。(50代)
- 正職員がやってきた仕事を、待遇面が良くなるわけでもなく、派遣社員の仕事にされる。(40代)
- 現在の会社はパート社員はとても少なく、会社からはパートの存在は消されています。組合にも入れない為、訴える場所がありません。上司とのスキル面談や労働環境のアンケートなど、全て社員対象で、パートは対象外となります。現在無期限雇用となりましたが、契約更新がなくなったことで、契約について話す機会もなくなってしまいました。以前正社員を希望しましたが、中途採用枠が限られていて、入れるなら大卒の男性を取りたいからと断られました。社員はエレベーター式に昇格していく中、パートは何年経ってもパートのままです。同じ仕事で社員とパートの待遇違いを改善して欲しい。
- 社員よりも残業したり休出している。ボーナスが少ない。月給ではなく時給なのが不満。
- 正規雇用への意思を伝えてもなかなかない。同じ仕事をしていても給料が全然違う。

- 雇用保険のみで何の保障も無く、月の変動がある。年齢的にも不安がある。(65 歳以上)
 - 現在、非正規雇用で働いているのでボーナスがないのですが、非正規でもボーナスが貰えるようになって欲しいです。(40 代)
 - 3倍貰っている正規職員と業務内容はそれほど変わりません。賃金の格差を無くしてほしい。(30 代)
 - 正規職員として長らく働いてきたが、親も年齢を重ねてきたので、地域の行事や家事などもやれるように正規職員を辞めて非正規を選んだ。だが、正規職員は3年で別の部署に異動になるシステム(非正規は継続雇用してもらえれば異動は無い)の職場のため、引継ぎもろくにしないまま正規職員が変わっていく。大事な業務は全て非正規にお任せの状態。そのためか、正規職員の方が休みも自由に取れて毎日定時前には仕事が終わっているが、こちらは定時で帰れる事はほとんど無く、休日出勤も正規職員よりも格段に多い。給与と仕事の質・量が比例するようになって欲しい。(40 代)
- 【非正規のメリット・デメリット】**
- 非正規で働くことにより出勤したい時に働ける。正社員でなくても社会保険に加入できるので困り感がない。正社員で働くと会社での縛りが多くなり、心労も増えるので仕事内容は変わらないが気持ちが楽である。
 - 子育てに理解がある職場で、時間に融通が利きありがたい。(40 代)
 - 体調不良で休んでも非正規なので気持的に楽に休めた。同じ仕事をしていても賞与の金額に 10 倍ほど差があったのでやるせなかった。(30 代)
 - 休みが割と自由に取れる。(50 代)
 - 非正規で働く利点は子どもや親に対しての時間が作りやすくなる。重要な責任を科せられにくいのでストレスが減少される。しかし、仕事内容は正規と全く同じなのに時給が低い、終了時間に終われないなど改善点は多い。(50 代)
 - 子育てや家事をしっかりとゆつくり行うために、パートで働くことは意義深いと考えます。保育園や学童に子どもを預け、フルタイムで働く主婦もいますが、その生活は非常に大変であり、私の周りには子育てや家庭を両立しながら余裕を持って暮らすためにパートタイムで働く人が多いです。第 3 号の扶養控除がなくなりそうな政治の流れは主婦としては非常に不安です。(40 代)
 - 子育てを十分にやることができたことについてはこの働き方に満足している。(40 代)
 - 非正規なので、残業なく帰れることは良かった。子どもが小さいと体調不良で急なお休みをもらうため、非正規のほうが休みやすいような気がする。(40 代)
 - 休みやすく、時短にできたりと時間の融通がきく点は、働きやすい。家庭の用事がどうしても発生するため。(50 代)
 - 複数の病気になった為、非正規(短時間)で良かった反面、3 人の子どもが大学進学希望のため稼げない。(50 代)
 - よかったことは比較的休みの融通がきくところ。不満は正規の人の仕事がまわってくるようになり、年々仕事の負担が増えること。以前は非正規ということでやっていなかった仕事もやるようになってきた。仕事は増えたが特に金銭的に待遇はよくなっていない。(40 代)

- 異動が命じられるのではなく、その都度関心のある分野を選択して希望する環境で働くことができたので、その点に満足しています。様々な分野で経験を積み、対応力が向上したと感じています。勉強させていただいたことに感謝しています。専門的業務を求められる割に評価の機会は乏しく、また、困難ケースは正職員でなく、専門的業務として非正規職員が対応しているため重圧とストレスを感じています。正規職員の異動により体制と解釈が変化するので、その点に非常に気を遣います。しかし信念に背いた働き方はしたくないので、専門職として大事にしたい部分は守りつつ、調整できるようにしています（伝えるべきことは伝え、且つギスギスしないように？）。そのようなときに、非正規職員としての限界を感じることが多いです。このアンケートをもって自身の働き方を振り返る機会を得ました。ありがとうございます。（40代）

【子育て】

- ベビーシッターを利用することに引け目を感じず、頼れる人が居ない場合、補助金が出るような制度があればいい。（30代）
- 国全体がもっと子育てに協力的になって欲しいと思います。会社の面接等で、お子さんがいる方に、事前の休みはいいが、突発的な休みが多いと困ると伝えているのを聞きましたが、子どもの体調は操作できるものではありません。国から企業への支援制度などがあれば、小さい子どもや、習い事をしている子どもがいる家庭のお母さんは安心して働けるようになると思います。長い時間働きたくても働けないお母さんがたくさんいると思います。（30代）

- 正社員だと育児が大変すぎて非正規にした。正社員でも子どもが10歳まで時短を使えとか、産前8週じゃなくて産前12週から休めるとか、子育て世帯にもっともっと優しくならないと女性は働けない。同時に、就労支援政策でもある児童クラブ(学童クラブ)は、調教 and 飼育状態。もっと子どもを尊重した関わりが必要。子どもの放課後の居場所をもっと増やすべき。（30代）
- 学童保育に入れない、学童の質が悪いことでパートを掛け持ち中。時給を上げてほしい。タイムカード導入してほしい。サービスが多すぎる。（40代）
- 保育園に長時間預けられる枠がないので正社員として働けない。（20代）
- 現在パート勤務で4歳の子供を育てています。出産前は正社員として自分の特技を活かして、イキイキと働けていましたが、結婚、出産は女性への負担が多く、産後の職場復帰は諦めました。それでも、社会に復帰して、子育て以外の自分の時間がほしいと思い、この春からパート勤務で働き始めましたが、夏休みなど長期休みに預かり保育を園に頼むと「祖父母に預けられませんか？」との返答…。(こども園の人数制限により)。昨今の物価高の状況と高齢者も働くようにと言うご時世で、祖父母に預けられるはずもなく、結局私が仕事を休み、自分の職場に迷惑をかけることになりました。（30代）
- パート契約なのに子どもの病気で欠勤すると、上司から嫌味を言われる。（30代）
- 子どもに重度の障害があり、今まで働く事ができませんでした。入所したので少し働こうと思いましたが、50歳を過ぎると思うように仕事がありません。

●余裕を持って子育てすることを考えた時、正規雇用の仕事から非正規、フリーランスの仕事に転職しました。私自身は有資格の専門職であるため、比較的時給単価がよく、経済的、時間的に厳しいわけではありません。ただし、社会がそのような働き方を想定していないのか、支払う税金や社会保険料に対して受けられる支援が少なく、正規雇用の方との差を感じます。もちろん、理解した上でこの働き方を選んだのですが、割に合わない、不公平であると強く感じ続けています。非正規であることはあえての選択であり、今の家族の状況には合っているのですが、どのような選択でも、平等に公的なサービスが受けられるよう望みます。(30代)

●保育料が高く正規雇用の仕事を辞めて、子育てに専念するしかありませんでした。そのため10年以上のブランクが生まれ、キャリアも積めず正規雇用の仕事へ再就職はできませんでした。これからの女性が子どもを産み、育てても仕事を続けることができキャリアアップもでき、自分の生き方を選択していけるような世の中になるように切に願います。(50代)

●今の職場に正社員登用もあるが、正社員はそれなりに責任もあるので、子育てしている今は正社員にならなくていいし、なる自信がない。だが、収入面ではやはり厳しく、もっと余裕がほしい。それで離婚をする決断が出来ない。子どもの用事で早退することもあり、月によって収入に差があるので、安定したい。ダブルワークをしたいが子どもが小さく、その間誰かにみててもらわないといけないので出来ない。家でできる仕事を探してみるが、危険な仕事と安全な仕事

の区別がつかない。(30代)

●非正規雇用職員の給料が社会情勢に釣りあっていない。社会保険料や年金など差し引かれる金額が多すぎるため、手取りが全く増えていない。子育てのために非正規社員になったが、子どもたちにかけられる教育費に限界があり、結果的に子どもたちの選択肢を狭めることになってしまう。非正規にも正規と同等の資格や能力を求めるのであれば、報酬も上げるべきだと思う。40代

●離婚してまだ子どもが小さいので、今は非正規で充分だが、自分の将来の事を考えると不安。(40代)

【年収の壁】

●私はとある協会で働いてます。子どもが小さい頃は時間に融通がきいたので、とても働きやすかったのですが、子どもが大きくなるにつれ教育費がかさみ、今は大学生の子ども2人には奨学金を借りて通わせてます。年々時給が高くなるにつれ、扶養範囲だと逆に休みが増えてしまい、扶養範囲を外れて働きたくても職場には社会保険料を払ってもらえないので、泣く泣く扶養範囲で働いています。毎年少しずつ年間勤務数を減らされますが業務は変わらず、有休はあるがなかなか減らなくて消滅してしまう年もあります。勤務地を変えたくないけど、変えなければ今の状況は変わらない。毎日がジレンマです。(40代)

●扶養内で働く保育園の基準がギリギリで辛い。かと言って扶養出ても働ける余裕はない。小学生と保育園児(障害児)がいるので子どもに寂しい思いをさせたり、できるだけ負担をかけずにやっていきたいと思っているのでなんとかしてもらいたい。(40代)

- 賃金が安いのに正社員以上の仕事や責任をかかえている。契約時間外の勤務を突然都合よく強いられたりしていて、ダブルワークのようにも時間の確保が難しい。物価高騰により家計や子供にかかるお金が高く、少しでも収入を増やしたいが年収の壁の為に調整したり、サービス残業に切り替えたりしているのが現状。正社員になるには時間的・体力的に育児家庭の両立が難しく、パートのまま今から社会保険へ入って働いても結局損する金額となる為難しい。賃金さえあがってくれば、選択肢も色々増えるのにと強く思います。(40代)
- 実際、非正規で時短で働いているが、業務は正規と同じ扱いでこなし、結局時短の分、次の日へとやらない物を回し、対応することになる…非正規でも肩身が狭いのに、正規で残業をやらないなど、そんな働き方をしたら白い目で見られて続けられない。子どもが小さいうちはどうしても休みがち…どの時代でも女性がその犠牲となり、会社では肩身が狭い思いをしている。今回の106万の壁、社会保険加入の法改定はひどい！今の日本には未来はなく、少子化も仕事に関しても望みなし…。矛盾しかない。生活困窮者は増える一方だ。(40代)
- 子育てを優先し非正規で仕事をしていますが、いつまでこの仕事を続けられるのか、待遇は上向いていくのか、契約の時期いつも心配になります。社会保険も入り保険証も自分ですが、1日の勤務時間も決まっているので税金や控除など働き方としては損しているような気がします。でも仕事内容はやりがいがあるので続けていきたいです。(50代)

- 扶養調整しなくても、働きたいだけ働けるようにしてほしい。そのため、保険料や引かれる税金額などを改善して欲しい。時給の見直し。(50代)

【賃金】

- 時給のパートですが静岡県の最低賃金で働いている。最低賃金のアップをお願いしたい。ボーナスがあれば嬉しい。(65歳以上)
- 今の仕事内容が好きですが10年働いても最低賃金の990円、正社員への切り替えしてもらえず正社員との待遇格差を感じています。(40代)
- 最低時給に近い仕事ばかり。介護、工場、給食、掃除などばかり。働く気が失せてしまいます。(40代)
- 私の職場では賃金が1円も上がらず、物価高の中とても生活費が苦しいです。食費優先で、他のものは我慢してばかりです。賃金を上げてください！(50代)
- 賃金アップ率が低い(1年経過で数十円)。賞与、社会保険等の措置がない。賃金に見合った仕事内容でない。扶養をはるかに超えた労働時間を確保したい。(40代)

【正社員の求人・登用】

- 正規雇用の求人が少なすぎる。(40代)
- 正規雇用の年齢制限をなくしてほしい。
- 私達の職場では、たくさんの能力がある女性が働いています。男性はその中にほんのひとりにぎりですが、男性はみんな他の職場を定年退職した方です。女性の職員は皆、彼らよりも若く仕事量も多いのに、正規雇用で働けない状況は不思議に思います。女性の労働力が軽視されていると思います。(50代)

- 収入を得たいので正規で働きたいが、希望する職種が地域にない。正規で働くと時間に融通が効かないと感じる。配偶者は仕事が忙しく祖父母のサポートが得られないので、自分も仕事に時間をかけることで、家事育児への影響が大きいと感じる。(40代)

【不妊治療・更年期】

- 勤務時間を調整してもらえるところが良い。子どもの病気や怪我で休みを取らざるを得ない。家族は家の近くにいるが、お互い働かなきゃならなかったり、介護が必要だったり、協力してもらえる人がいない。自分が休まなきゃならないため、休みもとやすい環境でなければ働けない。そうすると必然的に正社員は無理です。不妊治療で正社員を諦めたので。幸い子どもを授かったが、まだ不妊治療を続けて子どもを何人か欲しかった。でも休みを取って職場に迷惑かけられないし、家族にも協力してもらわないと現在いる子どもの世話もあるので思うように治療は出来ず、諦めました。女性が働きやすい環境は、まだまだ厳しいと思います。(30代)
- 主人の勤務が不規則なので、子どもが小さいときは子育てのため扶養内で働くことで満足していました。子育てが終わった今、フルタイムで働こうと思いましたが更年期で手の調子が悪く、今までと同じ内容で時間を延ばすことに不安があり踏み切れません。本当ならば慣れた仕事で今から活躍したいのですが、体がついてこないかもと考えます。社会全体が年齢に応じて仕事を変えていける、または同じ会社の中で内容を変えていけるようになるといいと思います。正社員は仕事内容を変える事もできるので

が、パートは全くそういう事はできません。扶養内など難しいくりを辞めにして100万を超えたところから、超えた分に対して少しずつ課税するとか自分の稼ぎに対して緩やかな体制になるなど、わかりやすく制度が変わっていきと嬉しいです。(50代)

【雇用・契約更新】

- 経費節減等により正規職員数が削減されたり、精神的なものによる休業者の増加や、男女とも育児休業・育児時間を積極的に取得する正規職員が多くなってきたこと等により、これまでの条件のまま、それらの仕事を非正規職員がやむをえず、正規職員に代わって負わざるを得なかったりすることも増えてきているように思う。また、法制度的には変わったはずなのに、実際は従前どおり雇用期間は5年で、雇用期間が切れるとそのまま退職となり、再度採用されるためには半年間のクーリング期間を設けて、採用試験を受けることが必要である。再就職しても、採用1年目の賃金から始まることになる。雇用期間の5年を超えて継続して勤務するための条件は整備されているとはいえ、現実的には建前だけのものになっている。また、正職員への登用も年齢的に若い人に限られ、難しい状態である。同じ非正規で入った人たちは、やる気を失くして辞めていたり、仕事を極力受けなかったり前向きなモチベーションが見られなくなることも見受けられる。職場や業務に愛着を持って、できるだけ良い仕事をし、できるだけ長く勤められるように環境を整えれば、ありがたいと思う。スキルアップや、たくさんの職場経験も活かせるようになるといいと思う。(50代)

- 長期で働けるようにしてほしい。賃金を上げて欲しい。(40代)
- 年度末には、更新されるのか不安になる。他の勤務先が探せるくらいの早めの回答が欲しい。(65歳以上)
- 派遣社員を利用している会社に誠意はあるのか！正社員と同じ仕事をし、残業までもして賞与無し。正社員への登用有といいながら年数が過ぎれば終。独身、子無し罰。将来の事を考えれば、年金受給額が、少ないのは明白。正社員になりたいのに10年非正規。(40代)
- 非正規で5年、10年も働いているという事は、必要とされているのだから、本人の申し出があれば正社員にしなければならない法改正をして欲しいです。(50代)
- 非正規だと常に職探しをしなければならない状態で、精神的にも経済的にも落ち着かない。(40代)

【その他】

- 特にないです。(40代)(50代)
- 何も期待しない。(50代)
- 地域社会の中で、勤めに出ていない＝時間があるから、ボランティアワークを求められる。ちょっとイヤです。在宅ワークも浸透してほしいです。(50代)
- 人の痛みがわかるようになれて良かったです。人生の試練を味わえたことに感謝です。
- 雇用契約書の時間内に仕事がやりきれないので、早出したり残業したりしてやっているが、会社から見えないので！仕事量が増える一方です。(50代)
- 非正規だが、ボーナスはもらえる職場なので、まだ良いほうだと思う。(40代)
- これまでなんとか、夫の収入に頼って、生

活できてきました。子供たちが就職、独立して初めて正社員でありながら、彼らの収入が自分たちの若い頃と手取りがほとんど増えていなかったことに驚きました。非正規のことよりもまず、正規雇用の方たちの労働に見合った収入増を望んでいます。(50代)

- 家事育児に参加してこなかった夫から、楽をして非正規で働いてきて給料が安いと言われモラハラを受けながら生きていかなければならない。本当に大変な時に、働きながら男に主だって家事育児をこなしてもらえば何か変わるのかなとも思うけど、もう年齢を考えるとこれから制度として何か変わったとしても何もかも遅くて希望はない。(40代)

- 請負契約で個人事業主扱いであるため、雇用保険や厚生年金といった社会保障がなく、老後の資金不足が非常に不安です。貯金を増やしたくても、報酬があがらない中物価があがり、また社会保険料も上がっているの、実質収入が下がるばかりです。また、インボイス制度も大きな負担です(現在契約している職場は、適格事業者の登録は強制していませんが、確定申告での経費精算において、適格事業者発行の領収書しか使えなくなるため、実質収入がまた下がります)。またインボイスは副業にも大きく影響します。税金や社会保険など国の制度設計に関わる部分なので、改善といってもなかなか難しいかと思いますが…。物価上昇を上回る賃金の上昇が中小企業はじめ社会全体に及ぶこと、高齢者の雇用促進、逆進性の高い税金・社会保険制度の抜本的な見直し(収入に応じての負担)を望みます。(40代)

- 年齢が 60 歳以上になっても、仕事はしっかりと正規の人に近い時間で働きたいと思っています。出勤日が半分くらいにならないようにして欲しいです。
- 開業医は、雇用条件が整っていないため、人間関係がぎくしゃくし、こちらの意見は通らないことが多く、働きづらいため、正社員で歯科衛生士を続けたくても、つづけることができないため、パートで働きダブルワークしている。ダブルワークなので、一日の時間的拘束は長いが、ボーナスをもらえないのは、腑に落ちない。(50 代)
- 現在の就業先の勤務内容に差があると思う。同じ会計年度任用職員でも、担当課によって業務量に差がある様に感じます。格差が無くなる事を願います。(50 代)